

|   |  |   |   |    |       |      |      |       |                                   |   |       |   |   |
|---|--|---|---|----|-------|------|------|-------|-----------------------------------|---|-------|---|---|
| 授業科目  | CT2J62   | 1単位                                       | 必修  | 実習 | 2学年前期 | 担当教員 | 池田正雄 | 松浦信二  |                                   |   |       |   |   |
|   | 保育実習指導Ⅰ（施設）  |   |   |    |       |      | 三沢徳枝 | 佐藤高博  |                                   |   |       |   |   |
| 授業の概要   | ① 居住型児童福祉施設等及び障がい児通所施設等において10日間の実習を行い、施設の役割と機能について理解を深める。<br>② 職員の指導に基づき、利用児・者の観察や関わりを通して理解を深め、個々の状態に応じた援助や関わりについて学ぶ。<br>③ 施設職員の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。 |   |   |    |       |      |      |       |                                   |   |       |   |   |
| 到達目標  |  |   |   |    | 学習成果Ⅰ |      |      | 学習成果Ⅱ |                                   |   | 学習成果Ⅲ |   |   |
|   |  |   |   |    | ①     | ②    | ③    | ④     | ⑤                                 | ⑥ | ⑦     | ⑧ | ⑨ |
| 1. 保育実習Ⅰ（施設）の意義・目的を理解し、実習における自らの課題を明らかにする。                        |  |   |   |    | ◎     | ◎    | ◎    | ○     | ○                                 | ○ | ◎     | ○ | ◎ |
| 2. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。               |  |   |   |    | ◎     | ◎    | ◎    | ◎     | ◎                                 | ◎ | ◎     | ◎ | ◎ |
| 3. 実習の計画、観察、記録の方法や内容について具体的に理解する。                                 |  |   |   |    | ◎     | ◎    | ◎    | ◎     | ◎                                 | ◎ | ◎     | ◎ | ◎ |
| 4. 事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確にする。                            |  |   |   |    | ◎     | ◎    | ◎    | ◎     | ◎                                 | ◎ | ◎     | ◎ | ◎ |
| 5. 保育実習Ⅰ（施設）の意義・目的を理解し、実習における自らの課題を明らかにする。                        |  |   |   |    | ◎     | ◎    | ◎    | ○     | ◎                                 | ○ | ◎     | ○ | ◎ |
| 凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照 |  |   |   |    |       |      |      |       |                                   |   |       |   |   |
|   | 主 題  | 準備学習                                      | 本時の学習内容と到達目標  |    |       |      |      |       | 復 習                               |   |       |   |   |
| 1   | オリエンテーション<br>施設実習の目的   | 教科書p.8～11を読んでおく。                          | 保育実習指導Ⅰの授業の流れを理解する。<br>施設実習の意義と目的について理解をする。   |    |       |      |      |       | 学んだことをまとめておく。                     |   |       |   |   |
| 2   | 施設実習の内容  | 教科書p.12～15を読んでおく。<br>実習先の概要についてそれぞれ調べてくる。 | 実習する施設の概要を理解し、実習資料（事後報告会）を参考にし、実習について、全体的な理解をする。  |    |       |      |      |       | 実習先について、全体的にまとめてしておく。             |   |       |   |   |
| 3   | 施設の理解(1)<br>(実習のねらいを考える)   | 教科書p.16～37、p.62～89を読んでおく。                 | 自分が実習する施設について理解を深める。<br>他の実習生の施設についての報告を聞き、児童福祉施設等に関する知識を得る。  |    |       |      |      |       | 資料を読み、実習先についての理解を深め、疑問点を明らかにしておく。 |   |       |   |   |
| 4   | 施設の理解(2)   | 教科書p.16～37、p.62～89を読んでおく。                 | 児童福祉施設等に関する理解を基に、他職種連携について理解を深める。<br>実習資料を基に、各施設の一日の流れを理解し、利用児・者への関わり方について討議し、理解を深める。<br>実習に必要な生活技術について確認し、自分自身の課題を明確にする。 |    |       |      |      |       | 資料を読み、実習先についての理解を深め、疑問点を明らかにしておく。 |   |       |   |   |
| 5   | 実習の目標の設定   | 教科書p.40～41、p.44～47を読んでおく。                 | 実習にどのような態度で臨むべきか、何を学ぶべきかを考え、実習の目標を設定する。   |    |       |      |      |       | 実習の目標をまとめておく。                     |   |       |   |   |
| 6   | 実習日誌の書き方(1)  | 教科書p.90～101を読んでおく。                        | 実習資料(ブラムドリル)を用いて、実習日誌を書く目的および基本的な書き方について理解する。<br>教科書p.96～97の課題に取り組み、実習日誌の書き方について具体的に理解する。                                 |    |       |      |      |       | 教科書p.96～97に、学んだ内容を踏まえて書き込んでおく。    |   |       |   |   |

|           |   |   |   |  |
|-----------|---|---|---|--|
| 7         | 実習日誌の書き方(2)   | 教科書 p.90～101 を読んでおく                               | 実習資料(プラムドリル)を用いて、日誌の「今日の学び・考えたこと」の記載内容と留意点について確認し、理解する。<br>翌日の実習課題への繋がりを意識した考察のあり方について学ぶ。 | 学習内容のまとめ、資料の確認をする。   |
| 8         | 実習日誌の書き方(3)   | 教科書 p.112～115 を読んでおく。                             | 実習資料(プラムドリル)を用いて、考察のあり方について学ぶ。  | 学習の内容をまとめ、資料の確認をする。  |
| 9         | オリエンテーション   | 教科書 p.42～43、p.48～51 を読んでおく。<br>実習の手引きの該当箇所を読んでおく。 | 学内オリエンテーション<br>事前訪問の目的を明確にし、確認事項について各自まとめる。<br>実習の流れを確認し、必要なマナーと守るべきルール、提出物の確認をする。        | 午後の実習先でのオリエンテーションを、実習の1日目と考え、必要なマナーおよびルールを確認すること。<br>事前訪問で確認できた内容についてまとめ、実習の手引きに書き込んでおく。 |
| 10        | 実習計画の作成   | 教科書 p44～47、60～63、64～89、112～115 のうち該当する部分を読んでおく。   | 実習計画を考える。<br>10日間の目標を考える。   | 実習計画、10日間の目標を完成させておく。  |
| 11        | 指導計画案の書き方(1)  | 教科書 p.102～105 を読んでおく。                             | 指導計画の立案の仕方と具体的なポイントについて理解する。<br>指導案(1)を作成する。  | 指導計画案を清書し、提出の準備をする。  |
| 12        | レクリエーション指導計画案の書き方(2)  | 教科書 p.106～111 を読んでおく。                             | 指導計画の立案の仕方と具体的なポイントについて理解する。<br>指導案(2)を作成する。  | 指導計画案を清書し、提出の準備をする。  |
| 13        | 実習におけるトラブルシューティング<br>実習前の事前確認   | 教科書 p.116～122 および Part3 の事後確認を読んでおく。              | トラブル例から、実習を通して必要な心構えについて考察する。<br>実習後までの流れを理解し、主体的に実習に臨めるようにする。                            | 学習のまとめと実習に向けた準備をしておく。  |
| 14        | 実習の振り返り<br>感想文・自己評価<br>自己アンケート  | 教科書 p.126～135 を読んでおく。<br>実習日誌を読み直して読む。            | 実習を振り返り、実習報告書(事後アンケート)に記入し、感想文を書く。<br>実習の手引きに、まとめ、反省ならびに自己評価を記入する。                        | 実習の手引きの該当箇所に記入をし、次回の報告会の準備をしておく。   |
| 15        | 実習報告会と今後の課題   | 実習報告会と反省会を行う。                                     | 報告会を行う。<br>自己評価と実習先からの評価を参考に実習を振り返り、実習の目標の達成度について総括し、今後の自らの課題を明確にする。                      | 実習、反省会、報告会などを振り返り、新たな課題と次の学習目標を明確にしておく。  |
| 成績評価      | 授業への取り組み 30%      課題・書類等の提出 40%      手引き・事後学習への取り組み 30%      合計 100%  |   |   |  |
| 教員からのコメント | <p>① 施設での実習を通して、養護・支援や社会的養護の場に加わっての実践的学びが可能になり、保育者としての専門性をより高めることができます。そのためにも、事前の学びによる十分な準備と事後の振り返りを行いましょう。</p> <p>② 今日の保育現場が抱える現代的課題を理解し、みなさんが保育者になったとき、子どもたちや保護者とのように関わるかについて、常にイメージしながら授業に参加してください。</p> <p>③ 課題提出があります。期限を守って提出してください。</p> |   |   |  |
| 教科書       | 書名 施設実習パーフェクトガイド<br>著者 守巧、小櫃智子、二宮裕子、佐藤 恵<br>発行所 わかば社  | 推薦図書  | 書名 授業の中で随時紹介する<br>著者<br>発行所   |  |